

多賀町立 多賀幼稚園

日時：2023年1月12日（木）14:00-18:40

2023年1月17日（火）9:00-16:30

場所：滋賀県犬上郡多賀町久徳 348 番地

多賀大社の近くに、多賀町立多賀幼稚園があります。今回は、園内が改装工事中で園庭が使えないため、園から徒歩10分ほどのところにある「久徳グラウンド」で研修をおこないました。多賀幼稚園以外の先生も参加し、新しいつながりが生まれる場となりました。

気温が低く寒い中でしたが、体をたくさん動かしながら自然体験型環境学習をしました。

講座、プログラム（指導案）づくり、作成したプログラムの実践と振り返りを行いました。

講座の一部を紹介します。

講師 島川武治（しまっち）さん

グラウンドで自然のものの探し！

中身の見えない袋の中にペアで手を入れ、手の感覚だけで袋の中にどんな自然物が入っているのか考えます。それぞれに似た感触のものをまわりの自然の中から探すというゲームです。触った感覚を頼りに木の実や石、木の皮を見つけたり、より感触が近いものをこだわって探したり、それぞれの感じ方や探し方の違いがあることを受け止めながら進めます。自然の中にはさまざまな形の石や枝、さわり心地の違う木の実があることに気づきます。



ペアで袋に手を入れます。触った感触と似ているものをグラウンドで探します！

さわり心地が似ているものはあるかな？探してみよう！



We are champion

グラウンドに落ちている自然物で、グー、チョキ、パーに見立てられる物を探します。木の実や細長い葉っぱなど、ジャンケンできそうなアイテムを探しました。

次にそれを使ってジャンケンをします。勝った人は先頭になり、負けた人は後ろに続きます。残り2組になったところで、それぞれが持っている自然物を並べて、長さを競います。ビニール紐を使って、長さを比べました。自然物にはいろいろな形や大きさがあることに気づきます。



ジャンケンに使いそうな自然物をペアで探します！人によって見立てるアイテムはそれぞれです！

自然物を使ってジャンケン！どんどん合体して列が長くなっていきます！



自然物を並べて2組の長さを比較しました！

“みんなのほし”をつくろう

グラウンドにある自然物の中から“ぱりぱり”“ピカピカ”“かんかん”などのオノマトペに関する自然物をグループごとに集めます。“くんくん”はどんなものなのか、友達と相談しながら探しました。同じテーマでもグループによって集めてきたアイテムが違い、共感したり認め合ったりすることの大切さに気づきました。

次に、集めてきた自然物を使って「みんなのほし」を作りました。集めてきた自然物をどこにどうやって貼るのか、じっくり考えながらグループごとに個性があふれる作品が完成しました。友達と一緒に自然に触れて遊ぶことの楽しさを学ぶことができました。



グループの友達と相談しながら自然物を集めます。触ったり音を鳴らしたりして、オノマトペを探しました。



“ぱりぱり”にはどんな自然物があるかな？ “くんくん”はどういう意味かな？



各グループで個性あふれる素敵な「ほし」が完成しました！園に帰ってお互いの作品を共有しました。

プログラムを終えてのふりかえり

- ・楽しい雰囲気で行えてよかった
- ・五感を自然の中で意識することで、いつもと違う楽しみ方ができる
- ・最後にプログラムを通してのメッセージを伝えることが難しかった
- ・子供たちの集中が最後までできないように保育者が工夫する必要がある
- ・自然と関わる方法を知ることができた
- ・違う季節で同じ遊びをすることで、また新しい自然を発見できると感じた
- ・子供たちに集中してもらうためには、まず興味をもってもらうことが大切
- ・異年齢でのコミュニケーションがとれてよかった
- ・大人の感覚とは違うから、子供たちの目線で考えてみる大切
- ・最初にどんなゲームをするか言わずに、ワクワクの気持ちを保てるようにするとい
- ・遊びのルールとして公平性を保つことが大切である